

血液検査表の読み方

項目数	項目名	内容	解説
1	アルブミン	水溶性タンパクの総称。低たんぱく血症は低アルブミン血症の事。	アルブミンの合成は肝臓である。不足の原因は肝障害か栄養不良。ネフローゼ。心臓か腎臓に故障があってむくみがある時水分が多すぎ血液が薄められる時、低アルブミン血症の傾向が現れる。
2	血清タンパク	多種蛋白の混合物で分離時蛋白分画と言う。	
3	TTT	チモール混濁試験の頭文字。	血清にチモール試薬を加えるとアンモニアや硝酸塩など血中に微量しかない物質が検出。その量を調べる試験。
4	ZTT	硫酸亜鉛混濁試験の事。	肝硬変があるとその数値が大きくなる。
5	CCLF(血清膠質反応)	試薬を入れ沈殿ができるかどうかを検査	肝機能やリンパ球系細胞の異常をみる検査
6	黄疸指数	黄疸の程度を表す	次のビリルビンの濃度を測る方法
7	ビリルビン	胆汁色素の主成分。大便を染めている色素。	これが血中に大量にでてくれば黄疸
8	ALP	酵素の一種。肝臓・胆道・骨などに異常があると数値が上昇。	光化学スモッグにやられても高値になる
9	フォスファターゼ	アルカリ性・酸性で働く酵素。	この数値は前立腺に異常があると高くなる
10	コリンエステラーゼ	酵素の一種。アセチルコリン神経伝達物質を分解	この数値が高いのはネフローゼ、甲状腺機能高進症、低いのは肝硬変・慢性肝炎・ガン・甲状腺機能低下症・有機リン中毒等
11	GOT	全身にある酵素。	炎症や虚血などが起こると、細胞から血中に流出。肝炎や心筋梗塞の時、血中GOTは高値になる。GOTとGPTのどちらが多いかも参考になる。
12	GPT	肝臓に多く含まれている。	そこに障害があると、肝細胞を出ていくので、その血中の濃度が上がる。ウイルス性肝炎や胆管閉塞の時顕著。肝硬変・アルコール性肝障害等ではGOTが多く、慢性肝炎ではGPTが多い。
13	LAP	ロイシンアミノペプチダーゼという酵素	
14	GTP	グアノジン三リン酸	遺伝暗号の翻訳開始に不可欠。
15	MAO	モノアミン酸化酵素。ノンアドレナリンの働きなくす物質。	哺乳類にとって一番重要なホルモン。この血中濃度が高い事は、精神の異常を示す。肝臓病では低くなる。この酵素は精神病ばかりでなく、睡眠や覚醒にも関係している。

項目数	項目名	内容	解説
16	LDH	乳酸脱水素酵素。	内属の細胞が壊れると、血中に放出される。心筋梗塞の時顕著。ウイルス性肝炎や肺塞栓症でも高値になる。
17	CPK	クレアチンフォスフォキナーゼという酵素。肝臓で作られ筋肉に供給。	筋肉ではクレアチンにリン酸を結合させてクレアチンリン酸を作る。エネルギー貯蔵物質として筋肉にとどまっている。このクレアチンリン酸を作る働きをするのがCPK。CPKが血中に大量検出されるのは、筋肉に異常のある時。心筋梗塞がある時は高値になる。
18	アミラーゼ	デンプン消化酵素の総称	この血中濃度が高いと、膵炎を疑われる。
19	総コレステロール	コレステロールとコレステロールエステルの総量。	コレステロールエステルは、コレステロールに脂肪酸が結合したものの。
20	HDLコレステロール	善玉コレステロール。コレステロールエステルの量はコレステロールの数倍。	善玉・悪玉両コレステロールとも、3番目のLはリポ蛋白。リポ蛋白とは脂蛋白になるもので、脂質とタンパク質の結合体。
21	LDLコレステロール	悪玉コレステロール。コレステロールエステルの量はコレステロールの数倍。	この脂質の成分として、コレステロール、コレステロールエステル、中性脂肪、リン脂質もある。
22	β -リポ蛋白	インシュリン拮抗物質を抱えインシュリンの働きを抑える	
23	中性脂肪・総脂質・リン脂質・遊離脂肪酸	この数値が高いと高脂血症と言われる	
24	ナトリウム・クロール（塩素）・カリウム・カルシウム・無機リン・血清鉄	これらはミネラル。これ以外にも重要なミネラルは沢山ある。	栄養学ではこの項目が検査でぬけると困る。
25	尿素窒素	尿素は窒素化合物。窒素はタンパク質の分解物。	血中尿素の濃度が高いと、腎機能の低下を意味する。腎臓に異常があるかどうかの目安となる。
26	クレアチン	クレアチンリン酸の元になる物質で筋肉中にある。	この血中濃度が大きいと、筋肉に異常がある事を示す。特に心筋において顕著にみられる。
27	尿酸	腎臓から尿へ出ていくもの	腎機能が低下すると血中に残る。痛風患者では尿酸値が高いが、逆はなく通風が出るとは限らない。キャリア社員に尿酸値の高い人が多いのは、尿酸には活性酸素除去作用があるため。

項目数	項目名	内容	解説
28	シアル酸	六炭糖の仲間の単糖。細胞膜や分泌液に含まれる糖蛋白や糖脂質の構成成分の一つ。粘度を与える物質。	シアル酸値は、炎症性疾患・リウマチ・ガン・膠原病などで高くなる。病気の悪化につれて上昇。回復が進むと低下する特長がある。
29	血糖	血中ブドウ糖。血液100ml中のブドウ糖のml数。これが高いと糖尿病と診断。	正常な血糖値は、空腹時110以下、食後1時間時点で170以下、食後2時間時点で120以下。食後1時間時点で200以上、2時間時点で160以上だと糖尿病と診断。中間は境界型糖尿病。境界型は真正に移行しやすい。
30	グリコヘモグロビン	ブドウ糖と結合したヘモグロビンの事。血中でブドウ糖濃度が高いほど、グリコヘモグロビンの量が多くなる。	グリコヘモグロビンの量は、2-3ヶ月の平均血糖値を示す。この管理がうまくいっていれば数値は10%以下になる。この結合反応は緩慢におこる。
31	ヘモグロビン	血液を赤く染めている血色素の事。	これが少なければ貧血。ヘマトクリット値の低いのも貧血だが赤血球と全血液の割合で調べる。
32	MCV	平均赤血球容積	
33	MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	
34	MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	赤血球に含まれるヘモグロビン分子の重量比の平均値。この数値が低いと貧血。
35	網赤血球	生まれたての赤血球。ヘモグロビンを作る。	溶血性貧血・鉄欠乏性貧血・出血が回復する時、網赤血球数が増える。再生不良性貧血や白血病では減少する。
36	CRP	C反応性蛋白	この蛋白質は肺炎などの炎症時、急性期にあらわれる。
37	RA	慢性関節リウマチの略称でリウマチ因子値	リウマチ因子はRA患者の80%で陽性。正常でも陽性の時あり。RAは目安だけ。
38	ASO	抗ストレプトマイシンO。赤血球溶解酵素。	抗ストレプトマイシンOの数値が高い事は、少し前に溶連菌に感染した事を意味する。
39	HBs	ヘモグロビンの略号。鎌形赤血球ヘモグロビンの意味	HBsがあると、鎌形赤血球貧血になります。
40	HBs抗体	HBsに対する抗体。	HBs抗体があれば、HBsもある。
41	寒冷凝集反応	寒冷凝集素の検査	マイコプラズマ肺炎にこれが出現するので、診断に利用。悪性リンパ腫・ウイルス性肺炎・伝染性単核症でも陽性になる時がある。
42	マイコプラズマ	かぜ原因微生物	若者肺炎の15-20%はマイコプラズマ肺炎と言われる。
43	LEテスト	LE細胞因子検査	全身性エリテマトーデスの診断方法

項目数	項目名	内容	解説
44	BMG	単一の免疫グロブリンの血中濃度	高いとガン・心臓血管障害・脳血管障害・慢性感染症などや高齢者にみられる。

血液検査表

総蛋白	TP	6.0-8.0	g/dl	25
アルブミン	Alb	4.0-4.4	g/dl	25
A/G		1.1-1.7		25
Al β	β	1.0-1.5	g/dl	25
Al γ	γ	0.1-0.5	g/dl	25
Al A/G		0.1-0.5		25
T	T	1.4	4以下	25
Z	T	3.5	2-12	25
黄疸指数			3-7	25
総ビリルビン	Tb	0.84	1.0以下	25
直接ビリルビン	DB		0.3以下	25
間接ビリルビン	IB		0.7以下	25
A L P		9.2	3.0-10.0	25
コリヤスタナーゼ	CK		0.5-3.5	25
G O T		21	5-40	25
G P T		16	0-25	25
L A P			70-200	25
ア-G T P			0-40	25
M A O			0-35	25
L D H			50-400	25
H B D			27-167	25
C P K			18-86	25
アミラーゼ		112	60-180	25
総コレステロール	TCh	234	130-250	25
コレステロール	Ch		65-80	25
HDLコレステロール	HDL-C	45	30-75	25
β-リポ蛋白	β-LP		200-400	25
中性脂肪	NEH	190	30-150	25
総脂質	Tl		250-500	25
リン脂質	PL		120-250	25
遊離脂肪酸	FFA		0.20-0.60	25
ナトリウム	Na		135-145	25
クロール	Cl		95-105	25
カリウム	K		3.5-4.5	25
カルシウム	Ca		9.0-10.5	25
無機リン	P		2.0-4.5	25
尿酸	UA		2.0-7.0	25
尿酸結合能	UC		200-400	25
尿酸尿酸結合能	UC		150-250	25
尿酸尿酸	UA	18.6	30.0-20.0	25
クレアチニン	Cr		0.6-1.2	25
クレアチン	Cr		0.4-0.8	25
尿酸	UA	4.8	2.0-7.0	25
シアル酸	SA		50-75	25
血				25
β-ミグロブリン	β-MG		0.5-0.5	25

白血球数	WBC	5400	4000-10000	25
赤血球数	RBC	499	400-500	25
ヘモグロビン	Hb	16.4	12.0-16.0	25
ヘマトクリット	Hct	49.9	37-47	25
M C V		100	80-100	25
M C H		32.6	27-32	25
M C H C		32.9	32-36	25
血小板数	PLT	18.9	15.0-25.0	25
網赤血球数	RDW		11-15	25
Neuro	Seg		50-70	25
Eosin			1-5	25
Baso			1-3	25
Mono			2-8	25
Lymph			20-40	25
Others				25
赤血球				25
白血球				25
血小板				25
肝臓				25
L E			(-)	25
赤沈	1時間値			25
赤沈	2時間値			25

検査報告書(3)

検査材料 Dr

受付月日 受 年 月 日 区分

受付番号 SP% 性別 7

カルテNo. A- 年 月 日生

患者名 殿

A F P	定性	(-)	ng/ml	60
C R P	CRP	(-)	(±)	35
R A T		(-)		40
A S O		100以下	Todd	80
HBe抗体	HBeAb	(-)		65
HBe抗体	HBeAb			85
HBe抗体	HBeAb			230
HBe抗体	HBeAb	(-)		75
HBe抗体	HBeAb			85
梅毒抗体	TP	陰性		20
マイコプラズマ	MPC	陰性		70
L E 因子		(-)		100
抗核抗体	ANA	陰性		100
抗DNA抗体	ADNA	陰性		100